

科学技術の潮流

JST 研究開発戦略センター

230

一大国際会議

産業や社会におけるロボット利活用の進展は顕著であり、特に近年、人工知能(AI)との統合や人間と協働可能なロボット開発において新たな動きが活発化している。

ロボット分野の進歩を牽引しているのは、権威ある一大国際会議、「ロボット工学とオートメーションに関する国際会議(ICRA)」と「インテリジエントロボットおよびシステムに関する国際会議(IROS)」で

ある。この分野での最新の研究とイノベーション

最近の会議テーマ(表)は、各会議がど

最新動向と課題

進化し続けるAIと切かつ安全に実行する状況に応じた行動を適

に据え付けられた腕型のロボットから、人間や動物のような足を持つもの、全方向車輪で移動するものなど、さまざまな形状のロボットが開発されている。

これらは、単に作業を補助するだけでなく、人間との共同作業を通じて新たな価値を創出する可能性を秘めている。

AIとロボット工学全で快適なものに変えてゆく。これに伴い、倫理的、法的、社会的な課題への配慮も急務である。

重要な場であり、世界中の専門家が集まり新しいアイデアを競う。コロナ禍により一時期オンライン開催に切り

の統合は、ロボットが単なる機械から知的なるう。また、人間と協働するロボットの多様化と

進化も顕著である。台

また、人間と協働するロボットの多様化と進化も顕著である。台

また、人間と協働するロボットの多様化と進化も顕著である。台

また、人間と協働するロボットの多様化と進化も顕著である。台

ロボ学会にみる未来

ロボ・人協働新価値創出



科学技術振興機構(JST)研究開発戦略センター フェロー(システム・情報科学技術ユニット) 茂木 強

京都大学理学部卒。総合電機メーカー入社。計算機言語処理系などの開発を経て、情報システム技術の研究開発や事業化に従事。米スタンフォード大学計算機科学科修士課程修了。2013年より現職。

二大国際ロボット会議のテーマ一覧

学会名 (開催年・国)	大会テーマ(日本語は筆者訳)
ICRA (2022・米国)	The Future of Work of our society 未来の社会の働き方
IROS (2022・日本)	Embodied AI for a Symbiotic Society 共生社会のための身体化AI
ICRA (2023・英国)	Embracing the Future: Making Robots for Humans 未来を切り開く: 人間のためのロボットを作る
IROS (2023・米国)	The Next Generation of Robotics 次世代のロボット技術
ICRA (2024・日本)	CONNECT+

の統合は、産業やサービス分野における効率向上や新たなビジネスチャンスの創出に寄与するとともに、私たちの日々の生活をより安全で快適なものに変えてゆく。これに伴い、倫理的、法的、社会的な課題への配慮も急務である。

(金曜日掲載)